

令和5年2月16日

関西オープンファクトリーフォーラム ～Vol.14 地域一体型 OF×EXPO2025 大阪・関西万博の可能性～

地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地から英知が集まる「大阪・関西万博」を地域一体型オープンファクトリーのキーパーソンを通して掛け合わせることで、どのような「万博プラスワン」の可能性があるのか、キーパーソンの感性を通して気づきに触れる機会として開催します。

国内でも最大級の地域一体型オープンファクトリーを運営する新潟県の「工場の祭典」と福井県の「RENEW」の取組を改めて知ること、参加者全員で「万博プラスワン」の可能性を探り、活性化への道筋を見いだします。



※過去のフォーラム開催イメージ（左図：京都にて開催 右図：丹波篠山にて開催）

1. 開催概要

開催日時：2023年3月13日(月曜日) 14:00～17:00

開催場所：QUINTBRIDGE(クイントブリッジ)

大阪府大阪市都島区東野田町4丁目15番82号

プログラム：

【講演①】2025 大阪・関西万博×地域一体型 OF における「メタ観光」の可能性
玉置 泰紀 氏

株式会社角川アスキー総合研究所・戦略推進室。エリア LOVE ウォーカー総編集長。国際大学 GLOCOM 客員研究員。一般社団法人メタ観光推進機構理事。京都市埋蔵文化財研究所理事。大阪府日本万国博覧会記念公園運営審議会会長代

行。産経新聞～福武書店～KADOKAWA・4誌編集長～角川アスキー総合研究所

【講演②】 燕三条は工場で人をつなげる

山田 立 氏

株式会社玉川堂 番頭。百貨店での勤務を経て、株式会社玉川堂へ入社。営業・企画全般を担当し、鋳起銅器の技術の伝承に力を注ぐ。2016,2018,2021年には「燕三条 工場の祭典」の実行委員長も務める。2018年に産業観光を推進する目的で株式会社つくるを設立、燕三条地域全体の産地の発展に尽力している。

【講演③】 来たれ若人、ものづくりのまちへ。「EtoC」で描く未来の地域

新山 直広 氏

合同会社 TSUGI 代表 / 一般社団法人 SOE 副理事 / RENEW ディレクター。2009年福井県鯖江市に移住。鯖江市役所を経て2015年 TSUGI LLC.を設立。「創造的な産地をつくる」をビジョンに、地域特化型デザイナーとして SAVA!STORE、RENEWの運営など、ものづくり・まちづくり・観光分野を横断し、地域に必要な活動を行っている。

【講演④】 いのち輝かせる地場産業 万博が開く未来

高佐 知宏 氏

日本経済新聞社 堺支局 支局長

シドニー支局長など国際報道6年の後、2012年の福山支局長赴任を機にここ10年は地域報道に携わる。堺支局では包丁など伝統産業はじめ、地場のものづくりの現場を訪れ、各地のオープンファクトリーにも足を延ばしている。大阪大法卒、早稲田大学修士、英ケンブリッジ大客員研究員。現在、大阪大学招へい教授を兼任。

【トークセッション】 地域一体型 OF×2025 大阪・関西万博の可能性

・パネリスト

株式会社角川アスキー総合研究所 玉置 泰紀 氏

株式会社玉川堂 山田 立 氏

合同会社 TSUGI 新山 直広 氏

株式会社オカムラ 岡本 栄理 氏

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会機運醸成局企画部審議役

今野 水己 氏

・ファシリテータ

近畿経済産業局

津田 哲史

2. 今後の展開

同日に開催する記者会見において、「国内の地域一体型オープンファクトリー事例を一挙にご紹介する冊子」を公表させていただきます。

当該冊子を活用しながら、2022年12月28日に登録した博覧会協会の「共創チャレンジ」を活かしながら、・旅行業・広告業(観光雑誌など)・各地の企業群と商品開発を検討する大企業メーカー等 協業相手とのコミュニケーションを促進させながら、大阪・関西万博を大きなビジネスチャンスとして発展させることを目指します。

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 中小企業政策調査課長 濱崎

担当者:津田・七原

電話:06-6966-6057

FAX :06-6966-6073

